

全国有数のイチジク産地 JAあいち中央管内で

## 「露地イチジク」出荷本格化！

【8月上中旬／安城市内の圃場でイチジクを紹介します】

全国有数のイチジクの産地 JAあいち中央管内で、露地栽培のイチジクの出荷が7月末から始まります。

JAあいち中央いちじく部会（部会長：竹内直人）では、安城・碧南・刈谷・高浜の4市で121軒が、約19.5ヘクタールで露地イチジクを栽培しています。イチジクの出荷量は愛知県全体では全国シェア率約16%で、都道府県別出荷量第2位（2020年度農水省統計）、愛知県下のJAでは第1位を誇っています。8月下旬には出荷のピークを迎え、11月上旬まで、京浜・中京・北陸地区の市場に約300トンを出荷する予定です。



### 今年の生育状況

春先は冷えましたが、6月以降は高い気温が続いていること、梅雨明けが早く降雨が少なかったですが、生産者が毎日の水管理を徹底したことにより、昨年並みに生育しています。病虫害の被害が少なく、実の付きが良い、例年通り品質の高いイチジクが期待されます。

### 美味しいイチジクをお届けするため生産・検査・流通のこだわり

部会では、樹上で食べ頃まで熟したイチジクを収穫・出荷しています。出荷されたイチジクは、検査後すぐに5℃の予冷庫で2時間冷やしてから、保冷車で運びます。こうすることで、採れたての品質を保持することができます。

検査はあえて非農家が行っています。どうしても検査の基準が甘くなりがちになるところを、消費者目線での検査を取り入れることで、品質の徹底を図っています。



### <メディア対応日>

日時：2025年8月上中旬 午前6時20分（予定）

集合場所：JAあいち中央三河安城北支店

（安城市篠目町井山98-13）

※イチジク圃場（車で約5分移動）で収穫の様子と生産者へのインタビューを撮影いただけます。

※天候や作業等により、日時等が変更になる場合があります。

※イチジクの圃場では、葉などに触れるとかぶれることがありますので、取材の際には長袖・長ズボンでお越しください。



一玉ずつ収穫します

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際は、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp